

雄大な自然景観とアーティストたちがコラボした大規模彫刻公園の計画

2000年（H.12）開館。遙か桜島を望む雄大な自然、牧草地や林が点在する地形を活かして整備された。草間彌生、ゴームリー、ダニ・カラヴァン、チェ・ジョンファなど国内外で活躍する作家たち20名が実際に現地を訪れ、自然や歴史的・文化的な文脈を生かしながら制作したサイト・スペシフィック作品が設置されている。そこでは約2キロの園路を散策しながら、多様な作品に手で触れたり座ったりして体験型の鑑賞ができる。

プロポーザル方式の基本設計から関与して、候補アーティスト選定、実施計画、アーティストとの調整、契約、設置監修などに関わった（1部はコンペによってアーティストを決定）。

作品はすべてこの場所の意味や特徴にあわせて新規制作されたもので、結果として土地に根付いて各作家の傑作ともいえる作品群となった。広々とした自然のなかでアートに出会う散策で半日くらいゆったりと過ごせる場所である。霧島観光のコースにも組み込まれて、内外から予想を超える多くの来場者が訪れ、アンケートによると地元のリピーターも多く、ネットの口コミなどの評価が高くなっている。